

BREAK BLUE

"BLAZBLUE"
RESPECT BOOK
FOR ADULT ONLY



XX

MARRIAGE

一時封鎖
だって？

なになに…
「イカルガ庁舎内にて
高濃度魔素が局所的に
発生」…？

まさか
この男子便所にも
魔素が？

は…はいっ
今…中で発生原因の
調査と除染作業を
進めています…

それで…今後も発生が
予測及び確認された箇所は
一時的ですが強制封鎖する
事になったんです…

ふむ…
ココノエ博士に
…

ムツキ大佐と
コハク大尉の
署名入りか…

分かった
そういう事なら
我々は他で用を
足すでしょう…

調査の方
頑張ってください

ハイっ
ご協力ありがとうございます
ございますっ

その都度
衛士の皆さんには
ご不便を強いる事に
なりますがどうか
ご協力願えますか…？

ほ…



あのお...?

あ...
セ...セリカ
...さん...う...♡



気にせず
続けてて...



ひ...人払い...
いつも...んあ...♡
どうも...ですう...♡

も...もう少し...
あと...もう少しで...
終わりますからあ...♡



さて、突然の状況に戸惑ってる人も多いと思いますが...

えっと...
ツバキさんは...
うわあ...

ジン...兄様...
すみませ...ん...♡

ジン兄様に...
捧げる...
はずだった様...

し...真実の愛と...
正義の為に...ち...
散らせちゃいまひたあ...♡

今この統制機構
イカルガ庁舎内で
秘密裏に...!



きっかけは
レイチエルさんの
モテメガネ

そのラヴ魔力の
虜になった女子達が
ラグナを巡って修羅場にな
りかけたのです。



あはあっ♡

射精てる…
れてまひゅっ…♡

ゲリラ子作りが
実施されている
のです。

ラグニヤさんの
げんきな赤ちゃん汁が
ピュッピュッてえ…♡



さすがに放つとくと
流血沙汰になりそう
だったので—

みんな仲良く
ラグナのお嫁さんにな
ったらどうかかな？

—と
言ってみました。



今度はあたしに
付き合っよ

一緒に
スパ・リング♡

単に修羅場の
様相が変わっただけ
だったみたいで…



するとみんな快く
提案を受け入れて
くれたので—

ム…ムシヨん中で
ケツを狙われる囚人の
気持ち解ったぜ…

あいつら…
便所にまで押し掛けて
きやがって…

その時は平和的に
解決出来たと安心
してたのですが—

ラグナ
大丈夫？

すぐに
ココノエ博士の
ところへ来し

ラッグナ
くーん♡



今日は
スパーリングって
言ったじゃんっ!?

ちつくしよっ
なんだよ
リス女あつ

あっ
あほ
キッ
キッ
キッ



ホラあ...あん...
もっとしっかり
腰を入れてえ...

ミット
子宮にガンガン...
はあ...
打ち込まないとさあ...

ええ
スパーリング
だよお...♡



挿入してるあいだ
好きなだけ尻尾モフモフ
したりおっぱいチュパチュパ
して良いからあ...♡

このまま抜かずに
空になるまで交尾
しよ...?



受精...できない
んだからあ...♡

じ...獣人の
オマ○コはあ...
んうあ...♡

そう…
みんなラグナとの
子供を作りたいがってる



女の子としては
そういう愛の結晶は
やっぱり欲しいんだな…



三つも封鎖…
いぬはな…
いぬはな…

あはあつ♡
射精た射精たあつ♡

おっぱい溢みれに
されながらの腔内射精
スッゴいいい♡



あは…♡
このお腹の中に
溜まってる…

サーメンの
プリプリ感…
たまんなあ♡



よし…ひとりあえず
俺はこれぞ
お暇

だーめ♡



空になるまで
抜かないって
言ったじゃん…?

今年中には
お父ちゃん達に孫の
顔を見せるんだから
頑張っつよね…♡



勿論この大胆な
行為は
然るべき監督下で
行われています。

…マコトの
デカ乳だけじゃ
飽き足らず……

ノエルちゃんの
桃尻までも美味しく
頂きやがってえ……

許せねえっ
ラグナの野郎っ

アイツあ間違いないく
全世界の男の敵だぜっ

大佐
少し黙って下さい

今の貴方の
言動も十分に
世の男子の殺意を
買いますよ

なにいつ!!?

ちなみに彼らが
無事に懐妊・出産した場合
その生活支援は全額
ムツキ家が負担する事
になります

確かに彼らの結束の
強化を考えるなら
この一夫多妻は我々に
とって有益では
ありますね

どういう事だっ
なんで俺が野郎の
世話しなきゃ…!?

先日、十二宗家の
定例会議で決まった
特別法案です

領内にて特殊な保護下に
ある為に表立って職に
就けない要人などを対象に
した生活保護プログラム
でしょう

僕としては来賓の女性と
度々関係を持つ誰かさんが
万が一認知を迫られる
事態にも対応出来ると思
賛同致しました

………ッ

大佐はさ
三日酔いで
休ませようか?



—と…
そんな訳で



様々な人達に
便宜を図って
もらってます。

まさかとは
思うがラグナ・ザ・
ブラッドエッジ—

貴様…
ゲイ
じゃないよな？



おい…
俺が今弱ってるのを
良い事に喧嘩売るにしても
言葉選んだ方が良くぞ…？

つーか
その胎は
なんだ？

気にするな
ただの確認だよ

なにせ貴様はどうも
世の男子が羨むこの
状況にあまりノリ気じゃ
ないみたいだから…

特性の
栄養剤だ

あは…

あは…



あ…？

げん…



だったらさっさと
嫁の一人や二人
孕ませたらどうだ？

あいつ
彼女らみんな
無職一人子一人くらい
余裕で養ってくれるぞ？
ムツキ家の支援もあるしな

俺
ヒモ決定かよ…

モジ
モジ



けっ…あんなの
程度が過ぎりや
ただの拷問だぜ…

昼夜問わずで
正直身が持たねえ
つての…

あ！



この際
瑣末なプライドなど
うっちゃらかして
しまえ

ボ
ボ
ボ

ほわあ！？



とにかく
こちらとしても
嫁としての意地が
あるんだよ…

貴様も男なら
自ら孕ませにかかる
くらいの甲斐性を見せろ



さあな
恐らくそうだった
※確率事象も
あったんだろう…

おい手前え
前もこんな風に薬
盛った事無かったか？！

モジ



しゅる…

※「BREAK BLUE RAGNA LOCK」参照

…すまん…

ちょっと相談に乗ってくれるか………?

情報収集?

それってやっぱり子作りについての…?

ああ…

正直… 私にはその手の知識も経験も皆無でな…

実践において情報不足は死活問題だ

なのでここしばらくは諜報活動の為方々を回っていたのだ

全てはダーリンと最高のパフォーマンスで子作りを成す為につ

ざわっ

パレットさんもう少し声のトーン落とそうか…?

ときにお前はもうダーリンと事は済ませたのか?

あ…うう… まあ…一回二回程度だけど…

その…他の娘達程頻繁には…ね…?

いや…別に良いんだ…

こればかりは他の女達に大きく遅れを取るの覚悟してた事だしな…

で…でもその甲斐あって準備が出来たから戻って来たんでしょ?

あうあう

っ!!

あれ…？

…いや…
その…

非常に
情けない話
なんだが…

参考文献などに
ちゃんと目を通しては
みたんだが…

全くもって
何一つ学び取る事が
出来なかった…

自分は文面よりも
実演を観た方が性に
合ってるみたいで…

とにかくその手の
映像資料を片っ端から
集めて観たんだ…

映像資料って
もしかなくても
アレかなあ…？



だがどうだ…っ
どれもこれも
肝心の部分が—



モザイクや黒塗りで
全く見えないんだっつ!!!

陸軍と陸の結合
および精液の受容の
くだりだけが
ピンポイントで…っ

あれほど徹底した
情報統制は最早
国家機密レベルだっ



パ…パレットさん
少し落ち着こう…
ねっ？

ここじゃあ
アレだし…

とりあえず
もうラグナのところに行こうっねっ!?





今度は
ケツ女の相手を
しろってか?
だー!

フーン...
ですか?

コキ!



ラグナッ

うひゃっ!?

パレットさん
初めて子作りに
臨むんだよ?

そういう態度は
あまり良くないと
思うのっ

こういう時
旦那様はちゃんと
真剣に向き合っ
てもらえなきゃ

姿見ねーから
てっきりラブ魔力が
切れたと
思ってたのによ...

ったく...
今日だけで何人
相手したと思って
やがる...



そもそもお前が
こんな事にいちいち
世話焼く必要あんの
かよ？

おいおい
勘弁だせ……

お願いラグナ……
疲れてるのは
承知してるんだけど……



あ……うん……
気にしなくて
良いからね？

さっきも
気になったが
ラブ魔力って
何の話だ？



ん……？
いや別に
そういう意味じゃ……

た……確かに
ここ数日子作りの
所作を学ぶ為に勝手に
留守にしていたが……

もしかして
私のダーリンを想う
気持ちをも
疑ってるのか？

な……なあ
ダーリン……



ラグナ……



本当かっ
そうかそうか……っ
よしっ

わ……っつたよ
しょうがねえな……



片時だって
ダーリンへの
愛を忘れた事は
無いんだ……

だから……
頼む……

私も
他の嫁達のように
抱いてくれない
か……？



んじゃあ
小手調べだ

俺のナニを
取り出して
弄ってみな？
片腕じゃまならぬんだ...

よしっ
ナニを出すんだな!?
何かは知らんが...



ひ...ひょっとして
これが...い...陰茎と
いうやつか...??

なんて...
禍々しい...
これを...弄るのか...??

おうよ

言っとくが散々
女共の相手してきたから
ちよっとやそっとの
刺激じゃあならねえぞ?



そ...そうか...
つまり強力な刺激
(負荷)を与えれば
良いんだな...??

待て待てっ
待てえっ!?



—?—
どうした?

どうした?
じゃねえっ
ひき漬す気かっ!?

触る前にその
物騒なモノ
外せっ!!



ぬう...
難しいな...

確か資料では
どうしてたか...



ん…ほら
バレットさんも
一緒に…

—っ
お…おう…

スゴイな…
最初見た時より
肥大化してる…

舌を這わせるだけで
こうまでなるもの
なのか…

んむ…思ったほど
臭いは気にならない
ものなんだな…

ここはね…
男の子の身体の中で
一番敏感で繊細な
部分だから…

絶対に…ん…
歯を立てずに
優しく扱うの…

や…優しく…
だな…ん…む…♡

「…」
吸うのもアリ
なのか…?



ん……また
陰茎が膨張してる……

私の……愛撫で
興奮してくれているのか
ターリン……？



あは……♡
本当に実演だと
飲み込み早いんだ
バレットさん……

それじゃあ
今の力加減で
ここを……
あげてみて……？

あむ……ん……
了解した……



ん……
心なしか股周りが
ムスムスしてるのは……

気のせい……か？

じれ……



もつと……
この身の奥にまで
包み込んでやりたい
衝動に駆られる……♡



もつ……
陰部に対する
羞恥や嫌悪感
無い……

む……
もつ……



男性器の勃起を
促す……この行為……

不思議な征服感
がある……



で
射精するっ!!

俺...もう
そろそろ...で...

?

あ...あんまり
無茶...すんな...

うぐ...くっ
おい...ケツ女...

!?



ぶおあっ



大丈夫...
だ...

だ...大丈夫
パレットさんっ!?

今...
出されたのが...
精液か...?



しかし...
これはどうした
ものかな...

こんなもの
どうやって膣に
注入するんだ...?



ゼッ...

グッ...

んお...

んお...

ゼッ...

グッ...

んお...

んお...



……っ!?



そそ…挿入だとう
馬鹿を言うなっ!?

い…いくら

私が無知だからって
冗談にもほどがあるっ



?

ひそ

それなんだけど
パレットさん…

ひそ

ひそ

えっとね…
…あのモザイク…
……なってる…



どうやってって
そりゃあお前え
直接ブチ込むに
決まってるだろう…

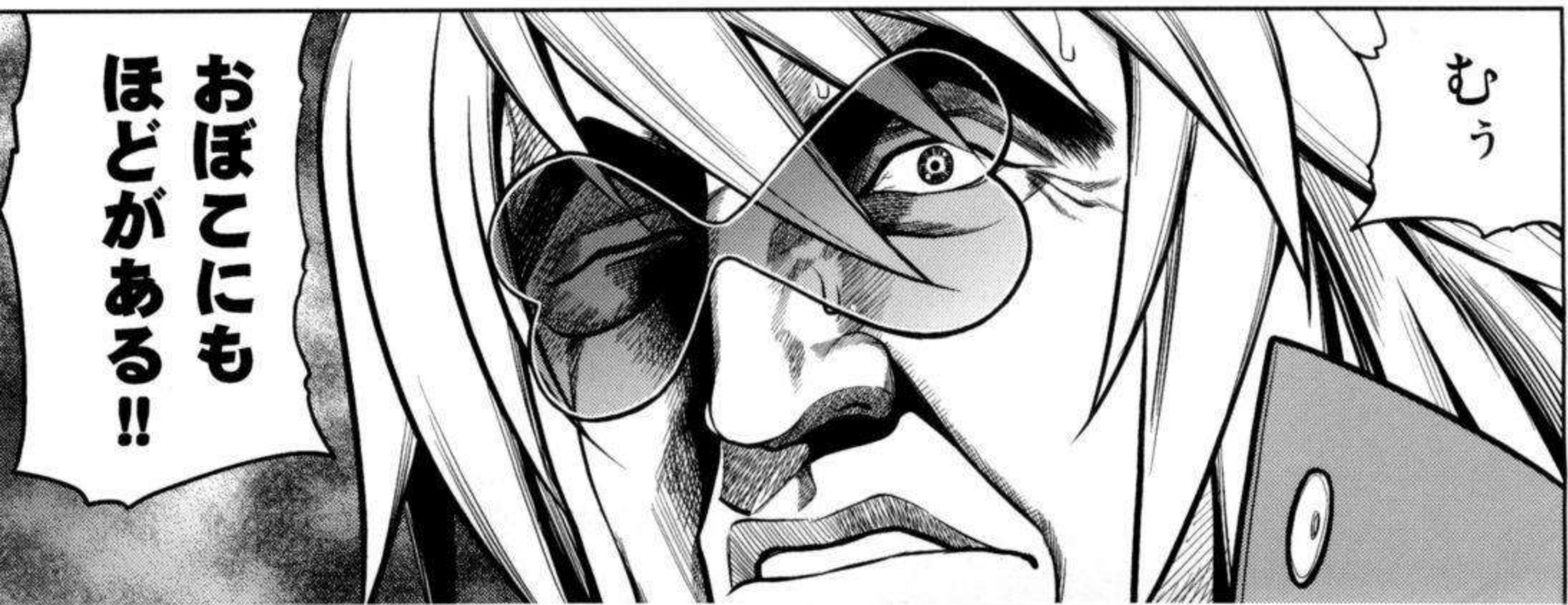
一応資料も
観てんだろ?

いや…観るには
観たが詳細な
部分は…



そんな野太い
物体が—

女の股に入るワケ
ないだろおっ!!?



むう

おほこにも
ほどがある!!



まあ信じられねえのは
勝手だけだよ……
それなら
ここまでだぜ……?

子作りは
辞めとくか?

うぐ……
や……辞めるとは
言っ……てない……
続行するぞっ

……

私……少しの間
外して……るね……?

お……おい?

俺、別に……
かまわねえぞ……



私が傍にいと
色々不自由だから……

……



!!

それよか
手前えは手前えの
心配をしな



んむ……♡

ん……♡

ん……♡

彼女には……今回の事で
相談や橋渡しなど
色々世話になってた
から……

あ?

少し……気が
引けるな……

ああ……気にすんな……
あっちは後で俺の方で
フォローすっからよ……

ぽん







ちょ...っダーリン
ど...何処に指を...!?

ふわ...っ
あ...あうっ!?



!?



ふわ



ふわ

ふわ

ふわ

ふわ



へへ...
良いねえ...

しっかり濡れて
んじゃねえか...?



ほら
分かるか?

ピッチリ閉じてた
マ○コ肉掻き分けて
指二本挿入っちゃった...

にゅ

にゅ



あ...

その様子じゃ
手前で弄った事も
無さそうだな?

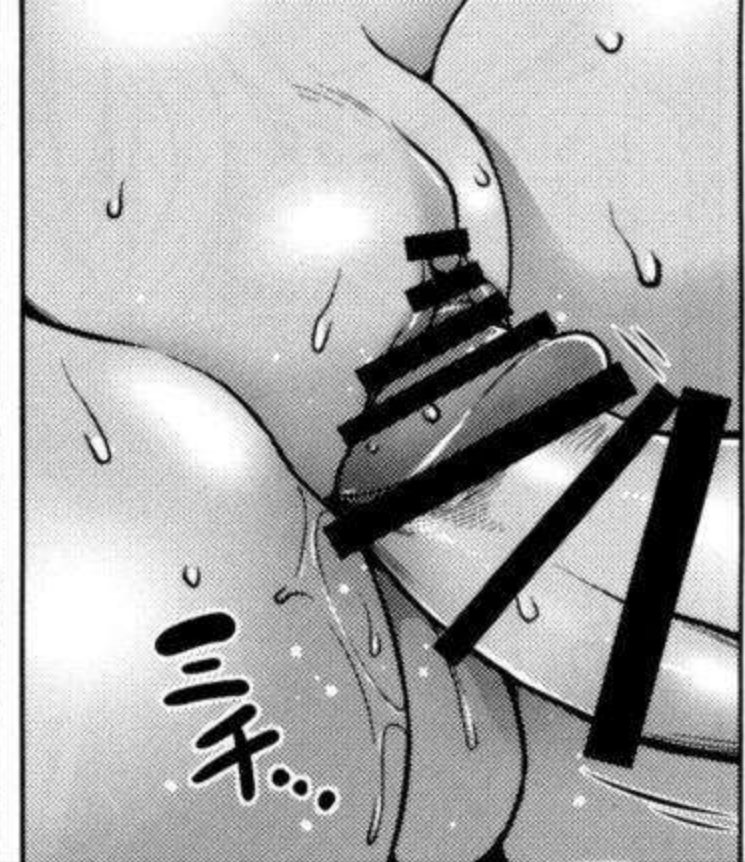
あう

あう

ほ...本当に...
それが...ここに
挿入るんだな...

おうよ...
言っとくが最初は
痛てえぞ...?

へ...平気だ...
苦痛に耐える訓練は...
受けている...っ





特濃のザーメン
腹いっぱい
流し込むんだから
よお?

この程度で
音を上げんなよ?
これからたっぷり
この膣肉を
擦り上げて...



ち...ちが...
違う...そ...そうじゃ
なくて...ふあっ
へ...変な...
擦られてる...
変な感じが...っ

ま...待て...あっ
待ってくれ...!!
なんだよ
まだ痛えのか?

な...なににか...
くる...
こみ上げて...
あっ

あっ!
!?

ああ...っ!?



りぐんっ!?



おいおい...

まさか
もうイったんじゃ
ねーだろうな...?



あひ...

はひ...

あ...

.....





はっ
いきまくりにも
ほどがあるんじゃ
ねえのかケツ女っ

さっきから俺の
チ○ポギユウギユウ
締め付けてやがるぞっ!!

い…言うな…
ゆっにああ…
あっあっ♡

こ…こんな
感覚う…あっ♡
今まで…け…
経験ないんだあ…



そ…それは…
そう…だけど…

ぶ…部隊の中じゃ…
私はむ…娘みたいな
もので…



今でも
信じられねえ
ぜ…っ

こんな
スケベな身体して
一度も男を食ってねえ
なんてよお…

本当に男所帯の
傭兵団で育ったのかよ
お前?



隊長も…
あぁっ…ん…♡
隊の仲間も…

こ…こんな…
あ…せ…せんせん
おひえて…くれ…
なくてえ…♡



ムキッ

う...うれひ...
ダァーリン...
んっ♡

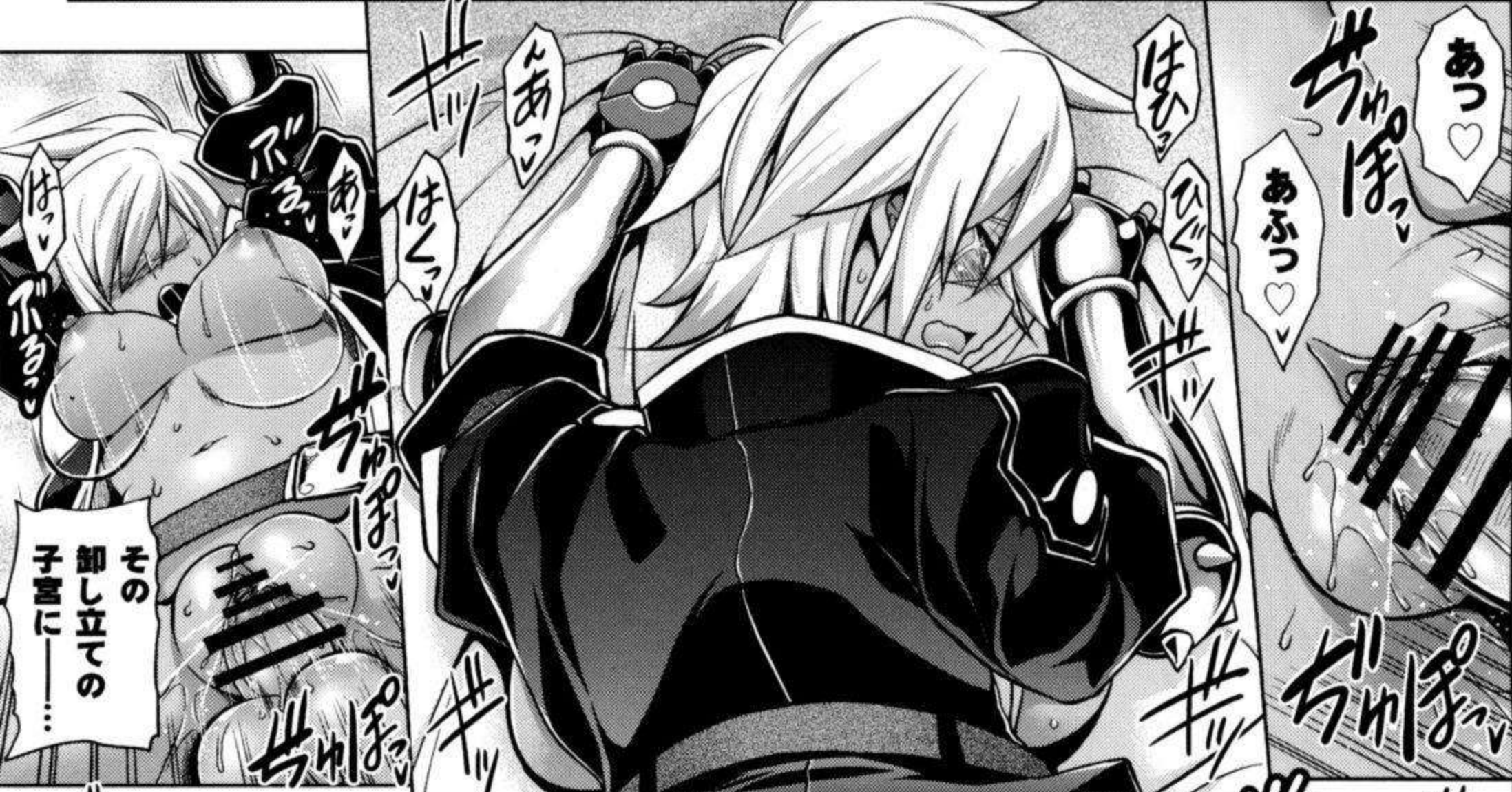
ああ...たまたまなく
ノってきたぜ...
お前にはこの先
徹底的にセックスの
味を教えてやんよ...



ほ...本当か...
ダァーリン...?

わ...わたひい...
かわ...いい...?

ハハッ
とんだ箱入り娘
だなぁっ!?!
気に入ったぜ...
可愛いよ...お前...っ



あっ♡
あふっ♡
あゝ

その
脚し立ての
子宮に...



さあ...っ
そろそろ射精す
頃合いだぜっ!?!

しっかりと
マ○コ肉を
引き締めなっ!!

たっぷり
膣内射精して
やるよおおっ



あ…♡

ああん♡

はア…

はア…

は…

…なんだか
ビックリ
しちゃった…

ラグナが急に
わたしと…H…
したいって言うから…

普段から
辟易してっから
不思議ってか？

日頃から
後ろで物欲しそうな顔
されてりゃ話は別だ…

俺が気付いて
ねえとでも
思ったか？

…バレバレか…
ふふ…

参っっちゃうなあ
…

よい…
しよっと…

やっぱりラグナは…
ん…やたらと
Hしたがる女の子は
…嫌…？

別に…嫌じゃ
ねえよ…

どんなにうんざり
してたって
なんだかんだで結局
応じてる訳だしよ…



元々そんなのが
無くてもラグナは十分
女の子にモテる素質を
持ってるんだよ...

なんだかんだで
面倒見が良くて...
優しくくて...

強くて...
格好良くて...

やんちゃなトコとか
可愛くて...

そんなラグナを...
女の子が放っておく訳
ないじゃない...?

かくいう私も...
そんなラグナだから...

毎日子作りしたいと
考えちゃうほど...
好きになってるん
だから...♡

で...でも
できたら...

ラグナも...私達に
同じ気持ちに向けて
くれたら...

う...嬉しい
...かな...

んうっ♡

札を言うよ...
その御託を聞いたら
気が楽になったぜ...

もう受け手に
なるのは御免だぜ

お望み通り
手当たり次第に
孕ませてやる...

あん♡



ほ…本当だ…
ラグナ…

本気で…
私の事妊娠させる
気なんだ…



んあああっ♡
ラ…ラグナ…急に
激し…ふあんっ♡

さ…さっきより…
ギチギチに…
オマ〇コ押し広げ
ちゃってる…よお…♡

なんだよ…
俺との子供を
孕みてえんだろ…??

こっちはもう
そのテンションで
ハメ込んでんだよ!!

本気の種付け
したいって…
一生懸命…♡



私の子宮に…
グリグリ
押し込んでる…♡



もっ…
その気になるの
遅すぎだよお…

私達は…うっん…
私は…いつだって…

ラグナの赤ちゃん
作る準備…出来てる
んだからあ…っ♡



ラグナの赤ちゃん…
沢山産むからあ…っ♡

い…良いよ…
きて…射精して…

わたしい…
うんと…産む
からあ…っ

出す…っ
お前の膣内…また
射精すからなっ

セリカ…っ
そろそろ…
また…っ





知らねえよっ
つっつか今種無し
つっつたかっ!?
こちとら誰かさんに
肉体改造までされて
んだぞっ!?

まの

食事中に
騒がしいな?

お待たせしました
セリカさん

ご要望の食材で
作ってみましたので
お召し上がり下さい

わあ
美味しそう♡

温野菜サラダに
大豆のスープ

それと
鶏腿肉のソテー
レモンソースかけです

どうも
ありがとうございます
ヒビキさん



ここ数日
体調がすぐれない
ように見えますね…

ココノエ博士の
「調整」が上手くいって
ないのですか?

はは…
そういう訳じゃ
ないんだけど…

でも確かに
最近疲れやす
なってるかな…

ライチ
こいつの生体システムには
なんの問題もない

ただここまでして
受容出来ないのを見ると
事象干渉の可能性が…

え…
まさか…
マスターユニット…?



時々…
吐き気も催したり
するし…

けど…別に
食欲が無くなった
訳でもないし…

あ…心なしか
酸っぱい物が欲しく
なったりするな…

…あの…
セリカさん…
それって
つまり…?!



ん？



なるほど…

異なる時代の
住人である「刻の幻影」
なら…

マスターユニットからの
事象干渉を受ける事は
無い訳ね…？



行こう
ラグナ君

今度こそ
赤ちゃん
作りましょう

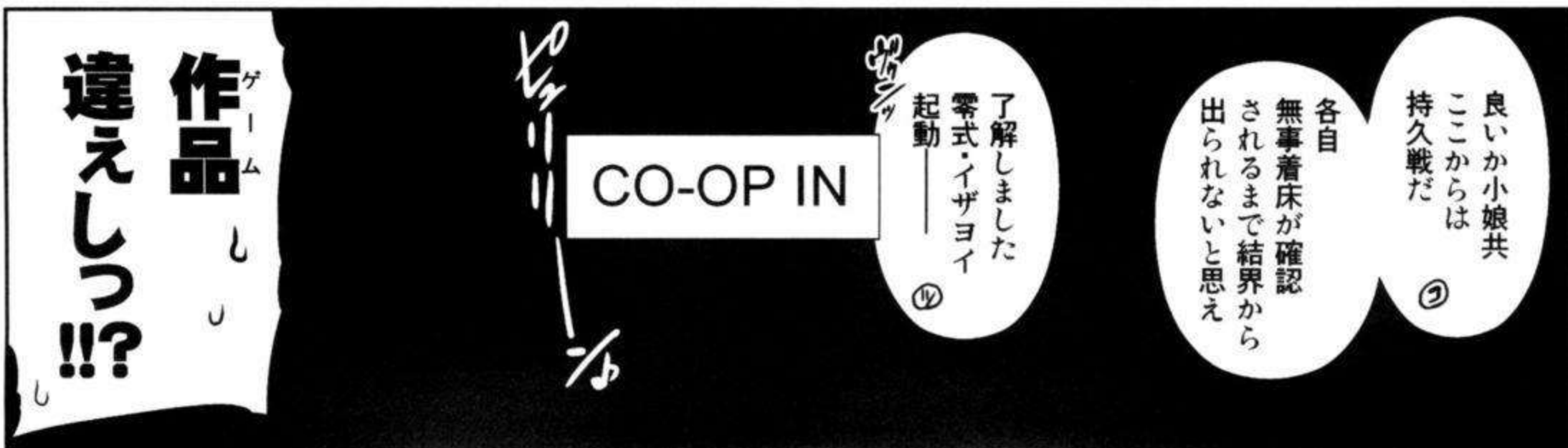
ツバキィヤヨイ
多少リスクがあるが
十六夜の結界を使うぞ

「眼」から遮断
出来れば我々にも
勝機はある

つちよ…
おいなんだよ!?
何処連れてく
気だよ…っ
放せて…っ

良い人
何か楽しそうニヤスね
夕オもませるニヤス♡

来んなっ



良いか小娘共
ここからは
持久戦だ

各自
無事着床が確認
されるまで結界から
出られないと思え

了解しました
零式・イザヨイ
起動

CO-OP IN

ゲーム
作品
違いしっ!!?



BREAK BLUE
X
MARRIAGE

発行元: STUDIO TIAMAT
発効日: 2014/12/30
印刷所: 共信印刷
サークル連絡先: TANABE
E-mail: tanabe@studiotiamat.sakura.ne.jp
HP: <http://studio-tiamat.sblo.jp/>